

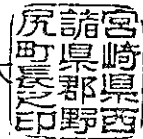


意見書

国土交通省
道路局長 殿

平成19年 5月 10日

宮崎県野尻町
野尻町長 長瀬道大



意見書

1. 意見書の趣旨

国・県道の整備について

2. 意見書の理由

「国道関係」

国道268号は、県都・宮崎市と西諸県地域の中心である小林市を結ぶ幹線道路で、地域の産業・経済・文化を支える重要な道路であります。

特に本町においては、同国道が町を横断する形で走っており、町の産業を支える道路として、また町民の重要な生活道路として欠かせない道路になっております。

しかしながら、当路線では交通事故、自然災害により、人や物流がストップする事が少なくありません。

「県道関係」

県道401号の奈佐木・高岡は国道265号の小林市奈佐木より分岐し、野尻町紙屋国道268号へ通ずる重要な生活基幹道路である。

(現状と課題)

一般国道268号は、九州縦貫道えびのインターチェンジと宮崎市を結ぶ最短距離の路線のため、大型貨物車両そして観光バス等をはじめ、県内外からの車両が頻繁に通行する輸送路として、大変交通量の多い幹線国道であります。

課題の一つは、交通事故の多発です。特に野尻町における区間では交通事故が頻発しています。これは、カーブや道路の狭さ、といった道路の構造上の問題に起因していると思われ、なかには死亡事故となるケースもあります。

401号奈佐木・高岡は、山間部で幅員も狭く、急坂、急カーブ

の連続で大型車の通行、離合困難な状況にあります。特に集落の住民においては、災害時の孤立化、生活、産業、経済の面から道路整備が住民の切実な願いとなっております。

(整備の効果)

1. 危機管理の視点から

国道268号は、事故による道路の寸断、自然災害による道路の寸断に度々見舞われており、幹線道路としての致命的な問題をかかえています。

緊急時を想定し、国道268号の整備・改良を行うことは、国道通行車両の安全、生活上の危機管理対策として有益である。

2. 安全確保とアクセスの強化

産業振興、北きりしま地域の観光振興、ましては地域住民の安定した生活の確保と高速道路や高次医療施設への広域的アクセスの強化